

\*出力条件  
 \*会計年度：H32  
 \*出力帳票選択：財務書類  
 \*団体区分：全体  
 \*団体/会計コード：  
 \*出力範囲：年次  
 \*出力金額単位：千円

## 全体貸借対照表

(平成33年3月31日現在)

(単位:千円)

科目	金額	科目	金額
<b>【資産の部】</b>		<b>【負債の部】</b>	
固定資産	24,158,950 ※	固定負債	5,985,565 ※
有形固定資産	22,845,557 ※	地方債等	5,348,619
事業用資産	4,790,668	長期未払金	0
土地	2,491,332	退職手当引当金	316,437
土地減損損失累計額	0	損失補償等引当金	0
立木竹	0	その他	320,508
立木竹減損損失累計額	0	流動負債	725,940 ※
建物	8,489,720	1年内償還予定地方債等	620,982
建物減価償却累計額	△ 6,774,539	未払金	4,994
建物減損損失累計額	0	未払費用	0
工作物	1,424,755	前受金	0
工作物減価償却累計額	△ 840,600	前受収益	0
工作物減損損失累計額	0	賞与等引当金	47,105
船舶	0	預り金	38,903
船舶減価償却累計額	0	その他	13,955
船舶減損損失累計額	0	負債合計	6,711,505
浮標等	0	<b>【純資産の部】</b>	
浮標等減価償却累計額	0	固定資産等形成分	24,158,950
浮標等減損損失累計額	0	余剰分(不足分)	△ 1,735,318
航空機	0		
航空機減価償却累計額	0		
航空機減損損失累計額	0		
その他	0		
その他減価償却累計額	0		
その他減損損失累計額	0		
建設仮勘定	0		
インフラ資産	17,885,367 ※		
土地	281,680		
土地減損損失累計額	0		
建物	337,956		
建物減価償却累計額	△ 216,656		
建物減損損失累計額	0		
工作物	40,402,091		
工作物減価償却累計額	△ 22,919,705		
工作物減損損失累計額	0		
その他	0		
その他減価償却累計額	0		
その他減損損失累計額	0		
建設仮勘定	0		
物品	1,299,324		
物品減価償却累計額	△ 1,129,802		
物品減損損失累計額	0		
無形固定資産	0		
ソフトウェア	0		
その他	0		
投資その他の資産	1,313,394 ※		
投資及び出資金	373,389		
有価証券	13,856		
出資金	69,639		
その他	289,894		
投資損失引当金	0		
長期延滞債権	19,793		
長期貸付金	54,255		
基金	868,010		
減債基金	0		
その他	868,010		
その他	0		
徴収不能引当金	△ 2,054		
流動資産	4,976,187 ※		
現金預金	450,918		
未収金	19,279		
短期貸付金	0		
基金	4,502,498		
財政調整基金	4,225,935		
減債基金	276,563		
棚卸資産	3,888		
その他	0		
徴収不能引当金	△ 397		
繰延資産	0		
資産合計	29,135,137	純資産合計	22,423,632
		負債及び純資産合計	29,135,137

※ 下位項目との金額差は、単位未満の四捨五入によるものです。

- \*出力条件
- \*会計年度：H32
- \*出力帳票選択：財務書類
- \*団体区分：全体
- \*団体／会計コード：
- \*出力範囲：年次
- \*出力金額単位：千円

## 全体行政コスト計算書

自 平成32年4月1日  
至 平成33年3月31日

(単位:千円)

科目	金額
経常費用	5,655,194
業務費用	3,297,775
人件費	748,599
職員給与費	540,003
賞与等引当金繰入額	47,980
退職手当引当金繰入額	0
その他	160,616
物件費等	2,485,620
物件費	1,167,933
維持補修費	184,025
減価償却費	1,132,377
その他	1,285
その他の業務費用	63,556
支払利息	52,264
徴収不能引当金繰入額	2,450
その他	8,842
移転費用	2,357,419
補助金等	2,061,980
社会保障給付	293,241
他会計への繰出金	0
その他	2,198
経常収益	236,799
使用料及び手数料	214,801
その他	21,998
<b>純経常行政コスト</b>	<b>△ 5,418,395</b>
臨時損失	8,181
災害復旧事業費	8,181
資産除売却損	0
投資損失引当金繰入額	0
損失補償等引当金繰入額	0
その他	0
臨時利益	2,667
資産売却益	2,530
その他	137
<b>純行政コスト</b>	<b>△ 5,423,909</b>

※ 下位項目との金額差は、単位未満の四捨五入によるものです。

\*出力条件  
 \*会計年度：H32  
 \*出力帳票選択：財務書類  
 \*団体区分：全体  
 \*団体／会計コード：  
 \*出力範囲：年次  
 \*出力金額単位：千円

## 全体純資産変動計算書

自 平成32年4月1日  
 至 平成33年3月31日

(単位：千円)

科目	合計	固定資産 等形成分	余剰分 (不足分)
前年度末純資産残高	23,126,710	24,846,943	△ 1,720,233
純行政コスト(△)	△ 5,423,909		△ 5,423,909
財源	4,699,907		4,699,907
税金等	3,116,979		3,116,979
国県等補助金	1,582,928		1,582,928
本年度差額	△ 724,002		△ 724,002
固定資産等の変動(内部変動)		△ 661,629 ※	661,629 ※
有形固定資産等の増加		347,186	△ 347,186
有形固定資産等の減少		△ 1,157,304	1,157,304
貸付金・基金等の増加		212,449	△ 212,449
貸付金・基金等の減少		△ 63,959	63,959
資産評価差額	0	0	
無償所管換等	0	0	
その他	20,924	△ 26,364	47,288
本年度純資産変動額	△ 703,078	△ 687,993	△ 15,085
本年度末純資産残高	22,423,632	24,158,950	△ 1,735,318

※ 下位項目との金額差は、単位未満の四捨五入によるものです。

\*出力条件  
 \*会計年度：H32  
 \*出力帳票選択：財務書類  
 \*団体区分：全体  
 \*団体／会計コード：  
 \*出力範囲：年次  
 \*出力金額単位：千円

## 全体資金収支計算書

自 平成32年4月1日  
 至 平成33年3月31日

(単位:千円)

科目	金額
<b>【業務活動収支】</b>	
業務支出	4,563,320 ※
業務費用支出	2,205,901 ※
人件費支出	701,494
物件費等支出	1,353,244
支払利息支出	52,264
その他の支出	98,900
移転費用支出	2,357,419
補助金等支出	2,061,980
社会保障給付支出	293,241
他会計への繰出支出	0
その他の支出	2,198
業務収入	4,941,535 ※
税込等収入	3,116,979
国県等補助金収入	1,514,611
使用料及び手数料収入	214,801
その他の収入	95,145
臨時支出	8,181
災害復旧事業費支出	8,181
その他の支出	0
臨時収入	0
<b>業務活動収支</b>	<b>370,034</b>
<b>【投資活動収支】</b>	
投資活動支出	549,192
公共施設等整備費支出	322,635
基金積立金支出	223,557
投資及び出資金支出	0
貸付金支出	3,000
その他の支出	0
投資活動収入	86,407
国県等補助金収入	68,317
基金取崩収入	9,704
貸付金元金回収収入	3,000
資産売却収入	2,530
その他の収入	2,856
<b>投資活動収支</b>	<b>△ 462,785</b>
<b>【財務活動収支】</b>	
財務活動支出	578,820
地方債償還支出	578,820
その他の支出	0
財務活動収入	372,550
地方債発行収入	372,550
その他の収入	0
<b>財務活動収支</b>	<b>△ 206,270</b>
<b>本年度資金収支額</b>	<b>△ 299,021</b>
<b>前年度末資金残高</b>	<b>642,257</b>
<b>本年度末資金残高</b>	<b>343,236</b>

前年度末歳計外現金残高	68,779
本年度歳計外現金増減額	38,903
本年度末歳計外現金残高	107,682
本年度末現金預金残高	450,918

※ 下位項目との金額差は、単位未満の四捨五入によるものです。

\*出力条件  
 \*会計年度：H32  
 \*出力帳票選択：財務書類  
 \*団体区分：全体  
 \*団体／会計コード：  
 \*出力範囲：年次  
 \*出力金額単位：千円

## 全体行政コスト及び純資産変動計算書

自 平成32年4月1日  
 至 平成33年3月31日

(単位:千円)

科目	金額	金額	
経常費用	5,655,194		
業務費用	3,297,775		
人件費	748,599		
職員給与費	540,003		
賞与等引当金繰入額	47,980		
退職手当引当金繰入額	0		
その他	160,616		
物件費等	2,485,620		
物件費	1,167,933		
維持補修費	184,025		
減価償却費	1,132,377		
その他	1,285		
その他の業務費用	63,556		
支払利息	52,264		
徴収不能引当金繰入額	2,450		
その他	8,842		
移転費用	2,357,419		
補助金等	2,061,980		
社会保障給付	293,241		
他会計への繰出金	0		
その他	2,198		
経常収益	236,799		
使用料及び手数料	214,801		
その他	21,998		
純経常行政コスト	△ 5,418,395		
臨時損失	8,181		
災害復旧事業費	8,181		
資産除売却損	0		
投資損失引当金繰入額	0		
損失補償等引当金繰入額	0		
その他	0		
臨時利益	2,667		
資産売却益	2,530		
その他	137		
純行政コスト	△ 5,423,909		
財源	4,699,907		
税収等	3,116,979		
国県等補助金	1,582,928		
本年度差額	△ 724,002		
固定資産等の変動(内部変動)		△ 661,629 ※	661,629 ※
有形固定資産等の増加		347,186	△ 347,186
有形固定資産等の減少		△ 1,157,304	1,157,304
貸付金・基金等の増加		212,449	△ 212,449
貸付金・基金等の減少		△ 63,959	63,959
資産評価差額	0	0	
無償所管換等	0	0	
その他	20,924	△ 26,364	47,288
本年度純資産変動額	△ 703,078	△ 687,993	△ 15,085
前年度末純資産残高	23,126,710	24,846,943	△ 1,720,233
本年度末純資産残高	22,423,632	24,158,950	△ 1,735,318

※ 下位項目との金額差は、単位未満の四捨五入によるものです。

## 1. 重要な会計方針

### 有形固定資産等の評価基準及び評価方法

#### ①有形固定資産

ただし、開始時の評価基準及び評価方法については、次のとおりです。  
ア昭和59年度以前に取得したもの 再調達原価  
ただし、道路、河川及び水路の敷地は備忘価額1円としています。

イ昭和60年度以後に取得したもの

取得原価が判明しているもの 取得原価

取得原価が不明なもの 再調達原価

ただし、取得原価が不明な道路、河川及び水路の敷地は備忘価額1円としています。

#### ②無形固定資産

ただし、開始時の評価基準及び評価方法については、次のとおりです。

取得原価が判明しているもの 取得原価

取得原価が不明なもの 再調達原価

### 有価証券等の評価基準及び評価方法

#### ①満期保有目的有価証券

償却原価法（定額法）

#### ②満期保有目的以外の有価証券

ア市場価格のあるもの…会計年度末における市場価格（売却原価は移動平均法により算定）

イ市場価格のないもの…取得原価（又は償却原価法（定額法））

#### ③出資金

ア市場価格のあるもの…会計年度末における市場価格（売却原価は移動平均法により算定）

イ市場価格のないもの…出資金額

### 有形固定資産等の減価償却の方法

#### ①有形固定資産（リース資産を除きます。）

定額法

なお、主な耐用年数は以下のとおりです。

建物15年～50年

工作物10年～40年

物品3年～20年

#### ②無形固定資産（リース資産を除きます。）

定額法

（ソフトウェアについては、当町における見込利用期間（5年）に基づく定額法によっています。）

③所有権移転ファイナンス・リース取引に係るリース資産（リース期間が1年以内のリース取引及びリース契約1件あたりのリース料総額が300万円以下のファイナンス・リース取引を除きます。）…自己所有の固定資産に適用する減価償却方法と同一の方法

### 引当金の計上基準及び算定方法

#### ①投資損失引当金

市場価格のない投資及び出資金のうち、連結対象団体（会計）に対するものについて、実質価額が著しく低下した場合における実質価額と取得価額との差額を計上しています。

#### ②退職手当引当金

退職手当債務から組合への加入時以降の負担金の累計額から既に職員に対し退職手当として支給された額の総額を控除した額に、組合における積立金額の運用益のうち葛巻町へ按分される額を加算した額を控除した額を計上しています。

#### ③賞与等引当金

翌年度6月支給予定の期末手当及び勤勉手当並びにそれらに係る法定福利費相当額の見込額について、それぞれ本会計年度の期間に対応する部分を計上しています。

### リース取引の処理方法

#### ①ファイナンス・リース取引

ア所有権移転ファイナンス・リース取引（リース期間が1年以内のリース取引及びリース料総額が300万円以下のファイナンス・リース取引を除きます。）

…通常の売買取引に係る方法に準じた会計処理を行っています。

イア以外のファイナンス・リース取引

…通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を行っています。

#### ②オペレーティング・リース取引

通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を行っています。

### 全体資金収支計算書における資金の範囲

現金（手許現金及び要求払預金）及び現金同等物

なお、現金及び現金同等物には、出納整理期間における取引により発生する資金の受払いを含んでいます。

### 採用した消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっています。

ただし、一部の連結対象団体（会計）については、税抜方式によっています。

連結対象団体（会計）の決算日が一般会計等と異なる場合は、当該決算日及び連結のため当該連結対象団体（会計）について特に行った処理の概要

その他全体財務書類作成のための基本となる重要な事項

①物品及びソフトウェアの計上基準

物品については、取得価額又は見積価格が50万円（美術品は300万円）以上の場合に資産として計上しています。

ソフトウェアについても物品の取扱いに準じています。

2. 重要な会計方針の変更等

会計処理の原則または手続を変更した場合には、その旨、変更の理由及び当該変更が全体財務書類に与えている影響の内容

表示方法を変更した場合には、その旨

全体資金収支計算書における資金の範囲を変更した場合には、その旨、変更の理由及び当該変更が全体資金収支計算書に与えている影響の内容

3. 重要な後発事象

主要な業務の改廃

組織・機構の大幅な変更

地方財政制度の大幅な改正

重大な災害等の発生

その他重要な後発事象

4. 偶発債務

保証債務及び損失補償債務負担の状況（総額、確定債務額及び履行すべき額が確定していないものの内訳（全体貸借対照表計上額及び未計上額））

係争中の訴訟等で損害賠償等の請求を受けているもの

その他主要な偶発債務

5. 追加情報

連結対象団体（会計）の一覧、連結の方法（比例連結の場合は比例連結割合を含みます。）及び連結対象と判断した理由

※戸田財産区特別会計、伊保内財産区特別会計、江刺家財産区特別会計については、市町村に財産を帰属させられない経緯から設けられた制度なので、連結の対象としていません。

一般会計等 一般会計 : 全部連結

公営企業会計 九戸村水道事業所 : 全部連結

その他 国民健康保険特別会計 : 全部連結

その他 後期高齢者医療保険特別会計 : 全部連結

その他 農業集落排水事業特別会計 : 全部連結

その他 下水道事業特別会計 : 全部連結

その他 索道事業特別会計 : 全部連結

その他 戸田財産区特別会計 : 全部連結

その他 伊保内財産区特別会計 : 全部連結

その他 江刺家財産区特別会計 : 全部連結

出納整理期間について、出納整理期間が設けられている旨（根拠条文を含みます。）及び出納整理期間における現金の受払い等を終了した後の計数をもって会計年度末の計数としている旨、出納整理期間が異なる連結対象団体（会計）がある場合は当該団体（会計）の一覧と修正の仕方

地方自治法第235条の5に基づき出納整理期間を設けられている会計においては、出納整理期間における現金の受払い等を終了した後の計数をもって会計年度末の計数としています。

なお、出納整理期間を設けていない団体と出納整理期間を設けている会計との間で、出納整理期間に現金の受払い等があった場合は、原則として現金の受払い等が終了したものとして調整しています。

表示単位未満の金額は四捨五入することとしているが、四捨五入により合計金額に齟齬が生じる場合は、その旨

千円未満を四捨五入して表示しているため、合計金額が一致しない場合があります。

その他全体財務書類の内容を理解するために必要と認められる事項

売却可能資産の範囲及び内訳は、次のとおりです。

ア範囲

予算において、財産収入として措置されている公共資産

イ内訳

該当資産なし

全体貸借対照表に係るものとして、減価償却について直接法を採用した場合、当該各有形固定資産の科目別または一括による減価償却累計額

事業用資産／建物	： 6,774,539,247円
事業用資産／工作物	： 840,600,399円
事業用資産／船舶	： 0円
事業用資産／浮標等	： 0円
事業用資産／航空機	： 0円
事業用資産／その他	： 0円
インフラ資産／建物	： 216,655,816円
インフラ資産／工作物	： 22,919,704,515円
インフラ資産／その他	： 0円
物品	： 1,129,802,178円